

倉吉から世界へ

倉吉に映画が

やってくる！

みんなの心にあるふるさとを

「懐かしい未来」として

一緒に映画と共に残していきましょう。

そのためには皆様のご協力が必要です。

当日は是非、会場にお越しいただき、

この映画作成の骨子をお聞きください。

みなさん
応援して
下さい！

開催日

7月13日 日

14:00 ~ 16:00 (13:30 より開場)

会場: エースバック未来中心・大ホール

©PAPIER / Jiro Taniguchi

2025年夏～県内各所にて撮影開始 | 2026 年秋公開予定

原作: 谷口ジロー 脚本・監督: 錦織良成

映画

遙かな町へ



倉吉ニューシネマプロジェクト

谷口ジローさんの名作『遙かな町へ』を倉吉で実写化する試みは、町の風景と人々の記憶を映像という形で未来へ受け継ぐ文化継承です。スクリーンに映る静かな路地や温かな笑顔は、地域の魅力を全国へ伝え、子どもたちにふるさとへの誇りと新たな夢を抱かせます。このプロジェクトには、撮影地としてだけでなく、共に映画を育てる仲間として住民一人ひとりが参加し、エキストラや裏方、資金面で力を合わせることで、倉吉が輝きを取り戻す力があります。完成した作品が国内外で上映される姿は、観光や交流を呼び込み、地域経済を支える原動力となるでしょう。映画は未来への贈り物です。皆で創り、皆で誇る倉吉の新しい物語がここから始まります。

「遙かな町へ」を応援する会キックオフミーティングイベント

映画監督・脚本家 にしこおりよしなり

錦織良成 監督

トークイベント

倉吉に生まれてくる
未来の子どもたちのために。
誇りを持てる資産をみんなで創り上げる。
それが『倉吉プライド』です。

地方を拠点に活動し、日本はもちろん世界に発信する数少ない映画監督です。

1962年、鳥根県出雲市出身。初めて故郷の鳥根を舞台にした「白い船」(02)は、その年のミニシアター邦画作品の全国興行成績1位を記録。原作物の映画化が多い中、オリジナルの企画、脚本に拘る数少ない映画監督の一人。何気ない日常をとらえる描写力と柔らかな映像センスに定評がある。“究極のローカルがグローバル”と故郷・山陰を舞台にした作品を数多く創出している。

《作品歴》BUGS(96)/守ってあげたい！(99)/白い船(02)/ミラクルバナナ(05)/うん、何？(08)/RAILWAYS 49歳で電車の運転士になった男の物語(10)/わさお(11)/渾身 KON-SHIN(13)/たたら侍(17)/僕に会いたかった(19)/高津川(22)ほか。
「たたら侍」では、第40回モントリオール世界映画祭最優秀芸術賞受賞(16)



7月13日 日

14:00 ~ 16:00

(13:30より開場) 当日、ご予約なしでも
ご入場いただけます。

エースバック未来中心・大ホール
(鳥取県立倉吉未来中心)

〒682-0816 鳥取県倉吉市駄経寺町 212-5



お問い合わせ・参加申し込み電話番号

倉吉商工会議所（担当：柴田）電話：0858-22-2191

倉吉観光 MICE 協会（担当：倉繁）電話：0858-24-5371

倉吉市経済観光部観光交流課（担当：三谷）電話：0858-22-8158

申し込みフォーム

右側→
QRコードより
お申込み下さい。



入場
無料